



水・緑・風が輝く 豊かな暮らしと産業で 飛躍するまち“香南市”



# 第2次 香南市振興計画前期基本計画

2017(平成29)年度 ~ 2021(平成33)年度



香 南 市



## 《 目 次 》

施策の体系	2
前期基本計画	
基本計画の位置づけと構成	5
施策大綱1 協働のまちづくり	6
【1】協働のまちづくりの推進	6
【2】健全な行財政の運営	7
【3】人権尊重のまちづくりの推進	8
施策大綱2 産業振興	9
【4】農業の振興	9
【5】林業の振興	10
【6】水産業の振興	11
【7】商工業の振興	12
【8】観光の振興	13
【9】住宅関連産業の振興及び定住環境の充実	14
【10】分野を超えた連携	15
施策大綱3 人生支援	16
【11】幼年期の支援の推進	16
【12】就学期の支援の推進	17
【13】成年期の支援の推進	18
【14】熟年期の支援の推進	19
【15】高齢期の支援の推進	20
施策大綱4 都市基盤	21
【16】公園・緑地と景観形成、環境保全の整備	21
【17】水資源等活用保全の推進	22
【18】交通網体系の整備	23
施策大綱5 教育文化	24
【19】保幼小中連携の推進	24
【20】家庭や地域と連携した教育の推進（チーム学校の取組）	25
【21】これからの社会を生き抜く力を育む教育の推進	26
【22】きめ細かな教育の推進	27
【23】安全な教育環境での教育の推進	28
【24】生涯にわたり豊かな心を育む環境づくり	29
【25】文化の継承と振興	30
【26】生涯にわたり親しみ高めあうスポーツの振興	31
施策大綱6 防 災	32
【27】災害に強いまちづくりの推進	32
【28】地域防災力の育成	33
【29】防災体制の強化	34
【30】市民生活の確保	35

# 施策の体系

基本構想に掲げた施策大綱・基本施策に基づき、具体的な施策の体系を次のとおり定めます。

施策大綱	通しNo.	基本施策	通しNo.	主な施策
第一章	協働のまちづくり	1 協働のまちづくりの推進	1	住民との情報交換の推進
			2	地域活動の推進
		2 健全な行財政の運営	3	行財政健全化の推進
			4	広域行政の推進
		3 人権尊重のまちづくりの推進	5	人権に関する意識啓発の推進
			6	多文化共生の推進
第二章	産業振興	4 農業の振興	7	農業生産基盤の充実
			8	防災への対策
			9	担い手対策の促進
			10	農産物のブランド化の推進と加工品の開発
			11	消費者の安心安全志向への対応
			12	農地の保全と活用の促進
			13	有害鳥獣被害対策
		5 林業の振興	14	林業生産基盤の充実
			15	森林の多面的な利活用の促進
			16	森林の活用
		6 水産業の振興	17	水産機能施設の整備
			18	漁港施設の整備
			19	新規漁業就業者の育成・支援
			20	漁場の保全
			21	漁業者の所得向上
			22	観光漁業の推進
			23	水産加工品流通販売の推進
		7 商工業の振興	24	企業誘致の促進
			25	既存企業の育成・支援
			26	魅力のある商業地・商店街づくり
			27	空き店舗の活用
			28	新規企業の育成・支援
		8 観光の振興	29	新たな観光拠点の整備
			30	観光拠点の強化
			31	歴史を中心とした博覧会の開催
			32	観光施設間の連携
			33	地域に親しむ観光の促進
			34	物部川地域3市での観光振興
			35	活性化に向けたあらゆる産業との連携の強化
			36	おもてなしの向上
			37	外国人観光客の受け入れ体制づくり
		9 住宅関連産業の振興及び定住環境の充実	38	住環境の整備
			39	市営住宅の整備
			40	南海トラフ地震への備え
			41	老朽化した住宅等の除去
			42	移住者向け住宅の確保と促進

施策大綱		通しNo.	基本施策	通しNo.	主な施策
第二章	産業振興	10	分野を超えた連携	43	6次産業化による地産地消・外商の推進
				44	観光クラスターの整備
				45	産業人材の育成・確保
第三章	人生支援	11	幼年期の支援の推進	46	妊産婦の安心で安全な環境づくりの推進
				47	親と子の心と体の健康づくり
				48	子どもと子育て家庭に優しい環境づくり
				49	質の高い保育・教育の推進
				50	すべての子どもの成長を保障する環境づくり
		12	就学期の支援の推進	51	豊かな人間形成を育む環境づくり
				52	子ども・親・家庭に優しい環境づくり
				53	親と子の心と体の健康づくり
				54	学校と地域の連携による教育環境づくり
				55	すべての子どもの成長を保障する環境づくり
		13	成年期の支援の推進	56	いきいきと健やかな人に優しいまちづくりの推進
				57	出会い・新しい家庭づくり支援の推進
				58	親と子ども・働く環境との両立支援の推進
				59	生きがいを感じられ参画できる地域社会の形成支援
				60	配慮が必要な人、誰もが安心して生活ができる地域社会の形成支援
				61	移住者ウエルカム支援の推進
		14	熟年期の支援の推進	62	いきいきと健やかな人に優しいまちづくりの推進
				63	生きがいを感じられ参画できる地域社会の形成支援
				64	配慮が必要な人、誰もが安心して生活ができる地域社会の形成支援
				65	健康で長生きできる環境づくりの推進
		15	高齢期の支援の推進	66	世代間交流を楽しみ生活文化の伝承ができる地域社会づくりの推進
67	親・子・孫で支える地域社会づくりの推進				
68	配慮が必要な人、誰もが安心して生活ができる地域社会の形成支援				
69	地域で支えあいがあり、香南市に住んで良かったと思える環境づくりの推進				
70	自然的土地利用と都市的土地利用の推進				
第四章	都市基盤	16	公園・緑地と景観形成、環境保全の整備	71	緑豊かな都市空間の創出
				72	治水・利水整備の促進
		17	水資源等活用保全の推進	73	生活関連水の処理の整備
				74	道路網の整備
		18	交通網体系の整備	75	公共交通の充実
76	保幼小中連携（一貫）教育の推進				
第五章	教育文化	19	保幼小中連携の推進	77	厳しい環境にある子どもたちへの支援
		20	家庭や地域と連携した教育の推進（チーム学校の取組）	78	学校の組織マネジメント力の強化
				79	不登校の改善
				80	子どもが育ちやすい地域コミュニティの再構築
				81	家庭の教育力の向上
				82	放課後の子どもの生活・学習支援の充実
		21	これからの社会を生き抜く力を育む教育の推進	83	就学前教育の充実
				84	確かな学力の育成
				85	豊かな心の育成
				86	キャリア教育の推進

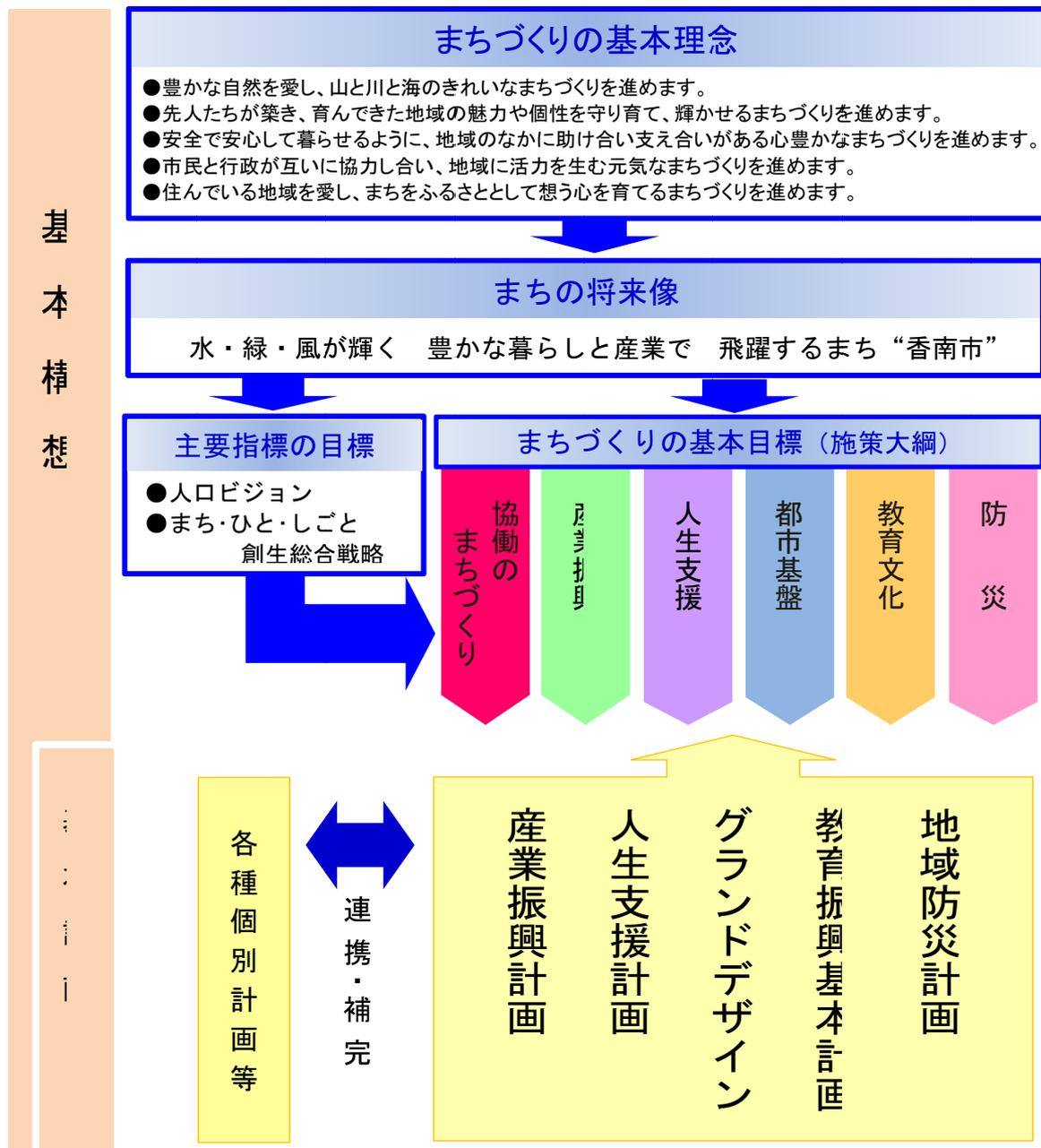
施策大綱	通しNo.	基本施策	通しNo.	主な施策			
第五章	教育文化	21	これからの社会を生き抜く力を育む教育の推進	87	人権教育の推進		
				88	健やかな体の育成と健康の増進		
				89	特別支援教育の推進		
		22	きめ細かな教育の推進	90	教職員の専門性・指導力の向上		
				91	保育所・学校運営の充実		
				92	生徒指導の充実		
				93	教育相談・支援体制の充実		
		23	安全な教育環境での教育の推進	94	防災教育等の推進		
				95	保育所、幼稚園、小・中学校の環境整備		
		24	生涯にわたり豊かな心を育む環境づくり	96	ライフステージに対応した学習の充実 (家庭教育・学校教育・社会教育)		
				97	生きがいを得る学習機会の充実		
				98	現代的課題に対応した学習機会の充実		
				99	学習施設の整備		
				100	地域に密着した学習の場の提供		
				101	生涯学習推進組織の整備		
				102	情報提供・相談機能の強化		
				103	指導者の育成・人材活用		
				104	生涯学習を通じての地域づくり		
				105	全ての人と共生する生涯学習の推進		
		25	文化の継承と振興	106	芸術・文化活動の推進		
				107	郷土の歴史・文化遺産の保存と継承		
		26	生涯にわたり親しみ高めあうスポーツの振興	108	生涯スポーツ・競技スポーツの推進		
				109	スポーツ環境の充実		
				110	スポーツ指導員の育成・人材活用		
		第六章	防災	27	災害に強いまちづくりの推進	111	津波・高潮の被害軽減対策
						112	水害・土砂災害予防対策
113	地震動に強いまちづくり						
114	孤立化防止対策の推進						
115	ライフラインの安全対策の強化						
28	地域防災力の育成			116	防災知識の普及		
				117	自主防災体制の整備		
				118	災害時要配慮者の支援対策		
				119	ボランティアの環境整備		
29	防災体制の強化			120	応急活動体制の整備		
				121	情報通信システムの強化		
				122	火災予防対策の推進		
				123	災害時医療救護体制の整備		
				124	緊急輸送体制の整備		
30	市民生活の確保			125	避難対策の推進		
				126	食料・飲料水・生活必需品の確保		
				127	保健衛生・防疫体制の確保		
				128	ごみ・がれき、し尿の処理体制の確保		

## 基本計画の位置づけと構成

第2次香南市振興計画前期基本計画（2017（平成29）年度～2021（平成33）年度）は、基本構想で定めたまちの将来像や基本目標の実現に向けて取り組む施策をまとめたものです。

少子高齢化や人口の減少、地域経済の低迷など、新たな課題に対応して、持続可能なまちづくりを目指していち早く策定した、「香南市人口ビジョン・香南市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を主要指標の目標とし、基本計画については、「香南市産業振興計画」、「香南市人生支援計画」、「香南市まちづくりランドデザイン基本計画」、「香南市教育振興基本計画」、「香南市地域防災計画」を同列に位置付け、その他の個別計画と連携・補完を図りながら、分野ごとの計画的な取組を行うとともに、複数の分野にまたがる横断的な視点を持ちながら、基本構想の実現に向けたまちづくりを形成していくこととします。

### 振興計画の基本構想と基本計画の位置づけ



◆現状と課題◆

中山間地域においては、過疎や高齢化、また、市街地においても空洞化、核家族化などにより、集落・地域のコミュニティの状況が大きく変化しています。

このため、自治会等の地域単位でのコミュニティ意識の醸成を図るとともに、地域活動への参加を促進し、自治機能の強化を図る必要があります。

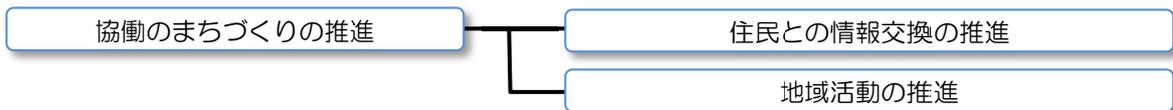
◆施策の基本目標◆

まちづくりにおいて、市民と行政と一緒に考え、取り組むための体制づくりを推進し、市民との情報共有を図り、各地域との懇談会など、市民と行政のコミュニケーションを図ります。

多様化する生活課題に密着した地域活動が行えるよう、自治会<sup>1</sup>や協議会<sup>2</sup>等の活動支援に努めます。

また、香南市まちづくり評議会<sup>3</sup>を開催し、市民と行政が「協働」で地域課題を解決する仕組みづくりに取り組みます。

◆施策の体系◆



◆まちづくり指標◆

まちづくり指標	現状 (H27)	目標 (H33)	備考
自治会組織の結成率	81.0%	100.0%	83 組織 (H29.3.31 現在)
協議会組織の結成率	53.0%	100.0%	10 組織 (H29.3.31 現在)



<sup>1</sup> 自治会：いくつかの町内会等をまとめた（約 100 世帯）組織。

<sup>2</sup> 協議会：さらにいくつかの自治会をまとめた組織。

<sup>3</sup> 評議会：協議会の会長による会議。

◆現状と課題◆

多様化、複雑化する市民の行政に対するニーズに対応し、厳しい行政事情とのバランスをとりながら、効率的で安定的な行政運営や公共サービスの提供が求められています。

このため、限られた財源をより効果的に執行し、将来にわたって持続可能な財政運営を行うため、中長期的な見通しを立て、事業の重点化を図りながら施策の推進を行う必要があります。

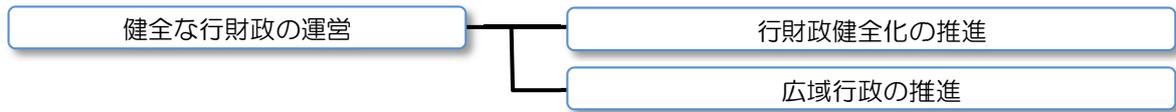
◆施策の基本目標◆

自立した財政基盤の確立をめざし、安定した健全な財政運営を行うため、中長期的な見通しを立て、事業の重点化を図りながら、諸施策を進めます。

行政改革の着実な推進、職員の政策立案能力などの資質向上を図るとともに、行政事務の効率化や情報化を含め、市民サービスの一層の向上と信頼される行政組織づくりに努めます。

また、まちづくりをより効果的に推進するために、関係市町村との調整を行い、広域的な施策を推進します。

◆施策の体系◆



◆まちづくり指標◆

まちづくり指標	現状 (H27)	目標 (H33)	備考
実質公債費比率 <sup>1</sup>	12.0%	12.0%	



<sup>1</sup> 実質公債費比率：自治体の1年間の収入に対する借金返済の負担割合。(当該年度の前3年間の平均値)

◆現状と課題◆

私たちのまわりには、同和問題をはじめ、女性に対する差別や性的いやがらせ、子どもや高齢者へのいじめや虐待の問題、障害者や外国人に対する差別や偏見、高度情報化など社会情勢の変化に伴うプライバシーの侵害など、さまざまな人権問題が存在しています。

そのため、人権尊重のまちづくりに向けて、すべての市民の人権意識を高めることが重要です。

◆施策の基本目標◆

市民に人権尊重の理念を広げるため、「香南市人権教育・啓発推進基本計画」・「男女共同参画基本計画」に基づき、人権尊重のまちづくりを推進していきます。

また、人権啓発フェスティバル等のイベントや施策を関係各課が実施し、市民及び市人権教育研究協議会などと連携を図りながら、学校・職場・地域社会などの場を通して、効果的な教育・啓発活動を進めます。

◆施策の体系◆



◆まちづくり指標◆

まちづくり指標	現状 (H27)	目標 (H33)	備考
人権講演会への参加者数	692 人/年	750 人/年	3講演会



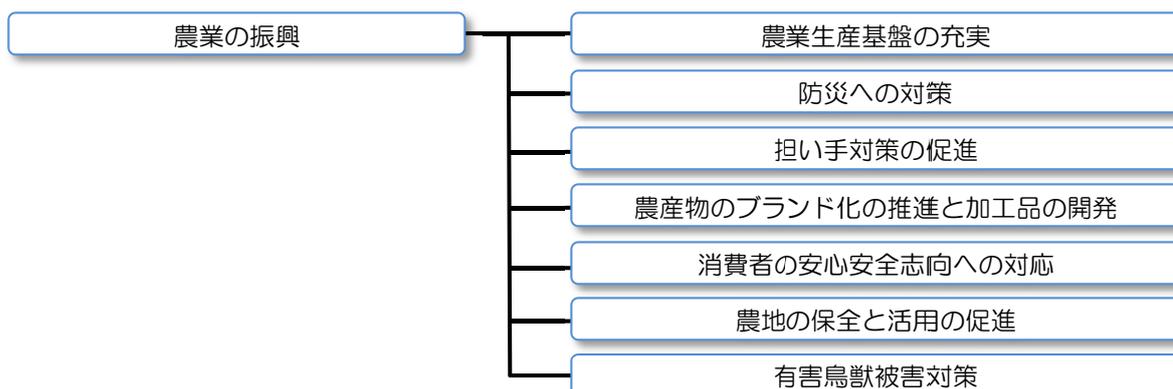
◆現状と課題◆

農業者の高齢化、後継者不足により、生産農家も減少し、労働力の確保が難しくなっています。  
また、消費者の低価格・節約志向、生産量の減少、資材価格の上昇などから農業者の経営は厳しい状態にあります。  
さらに、有害鳥獣による農作物への被害も増加しており、農業への被害は深刻さを増している状況です。

◆施策の基本目標◆

農業の振興を図るため、農産物の品質を高め、生産量の増加及び農業者の所得向上をめざし、基盤整備の強化を図ります。  
また、新たな担い手の確保と地域の中核となる農業者等の育成や中山間資源を活かした商品開発、販路拡大の支援、集落営農<sup>1</sup>の推進に努めます。

◆施策の体系◆



◆まちづくり指標◆

まちづくり指標	現状 (H27)	目標 (H33)	備考
新規就農者数	17人	70人	H29年度からの累計



<sup>1</sup> 集落営農：集落を単位として、生産行程の全部又は一部について共同で取り組む組織。

◆現状と課題◆

木材需要の減少や輸入木材の増加等による長期の価格低迷から、採算性が見込めないため、林業従事者の生産意欲の減衰を招いています。

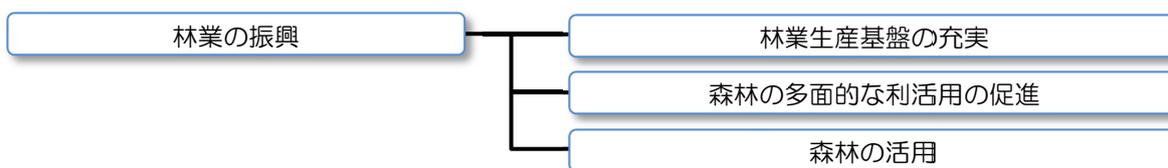
また、有害鳥獣による森林被害は、森林整備の実施に支障を及ぼしています。

◆施策の基本目標◆

林道・作業道の維持管理と適切な整備に努めるとともに、森林のもつ公益的機能の維持増進や、森林の集約化と経営委任の推進を図ります。

また、公共事業や公共施設での県産材の使用促進、木質バイオマス<sup>1</sup>エネルギーの利用促進と多面的利用の拡大を図り、林業従事者の育成にも努めます。

◆施策の体系◆



◆まちづくり指標◆

まちづくり指標	現状 (H27)	目標 (H33)	備考
森林経営計画の作成面積	100ha	850ha	
作業道の整備距離	1,880m	17,500m	
搬出・切捨間伐面積	20ha	250ha	



<sup>1</sup> 木質バイオマス：木質からなる再生可能な資源です。(まき、木炭、チップ、ペレットなど)

◆現状と課題◆

輸入の増加や食生活の変化などによる魚価の低迷、燃料費の高騰、漁獲量の減少により、漁業経営は不安定なものとなっています。

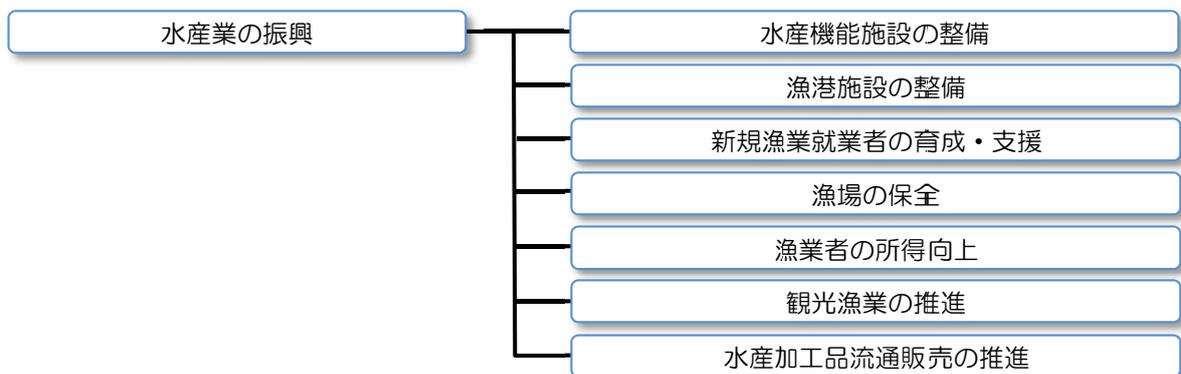
また、漁業従事者の高齢化による担い手不足とあわせて、漁港施設・水産機能施設の老朽化などが課題となっています。

◆施策の基本目標◆

漁港施設・水産機能施設の改修整備・経営基盤の強化を行い、漁業の生産高を伸ばし、漁業収入の向上をめざします。

また、地産地消を推進し、香南市ブランドの展開を図ります。

◆施策の体系◆



◆まちづくり指標◆

まちづくり指標	現状 (H27)	目標 (H33)	備考
沿岸漁業総生産量	1,086 t /年	1,200 t /年	
漁港施設の保全、改修整備率	25.0%	78.0%	住吉漁港・吉川漁港



◆現状と課題◆

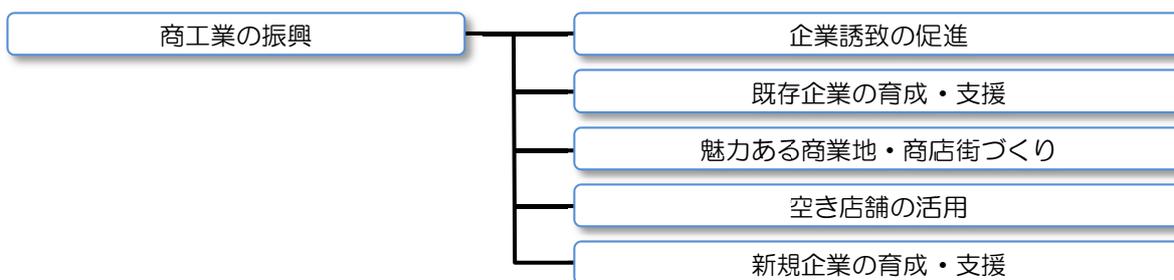
地域経済の活性化、雇用創出の観点からみた企業誘致の推進を、今後も図る必要があります。  
また、大型店舗への消費者の流出や、経営者の高齢化により商店街の空き店舗が増加しています。  
このことから、商業の沈滞、商店の経営悪化、さらにはまちの活気や治安面への影響が懸念されます。

◆施策の基本目標◆

後継者の育成・市内中核企業等を担う人材確保として、奨学金支援などの施策を展開し、市内企業への就職を促進、市への定着を図ります。

また、市内企業在職者に対する支援を充実し、必要な知識の習得やスキルアップに努めます。  
地場産業や観光施設との連携により、魅力ある商業地・商店街づくりを促進します。

◆施策の体系◆



◆まちづくり指標◆

まちづくり指標		現状 (H27)	目標 (H33)	備考
製造品出荷額等		419 億円/年	500 億円/年	
新規企業立地件数	香南工業団地	1 件	5 件	全 5 区画
新規雇用者数		7 人	160 人	
産業人材支援制度利用者数		着手	30 件	
空き店舗の新規活用件数		0 件	2 件	



◆現状と課題◆

本市の個性豊かな観光スポットは、市民の憩いの場として、さらに県内外から多くの来訪者を集め、地元にも活力をもたらしています。

より効果的な観光客誘致を図るために、高知県や近隣市町村との連携（広域連携）を強化し、観光拠点の強化や連携、情報発信等を積極的に行っていく必要があります。

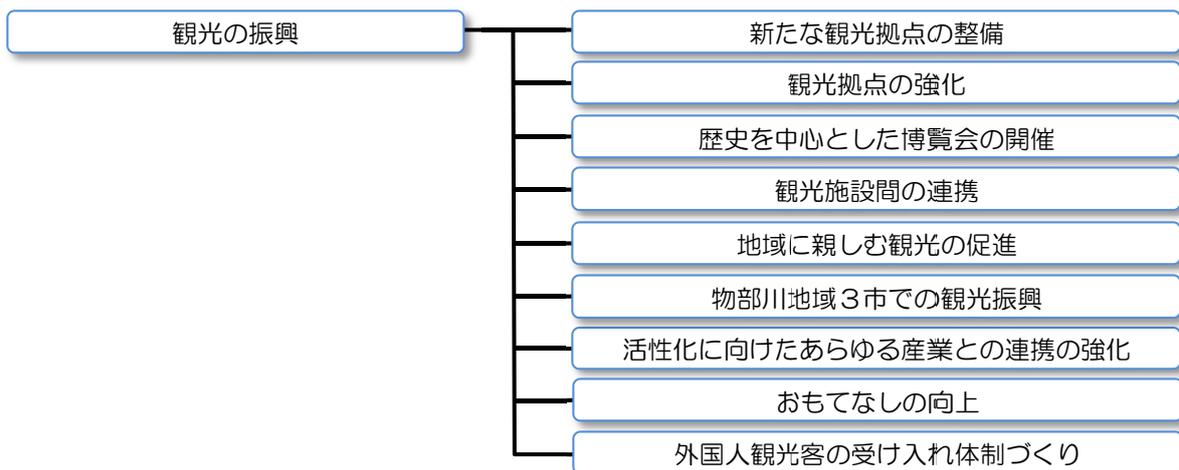
◆施策の基本目標◆

各観光施設・交流拠点のネットワーク化を図り、観光施設の連携促進を図ります。

また、核となる観光拠点の整備や広域観光の推進を行い、市内各地に観光客が訪れる質の高い観光地づくりをめざします。

あわせて、香南市情報発信及び国際観光の推進も行います。

◆施策の体系◆



◆まちづくり指標◆

まちづくり指標	現状 (H27)	目標 (H33)	備考
観光施設入込客数	100.3 万人/年	120 万人以上/年	
大型クルーズ乗船客の本市への誘客回数	-	10 回/年	H29 年度事業開始



◆現状と課題◆

市営住宅の状況は、環境保全や福祉対応、長寿命化への取組が必要となっています。個人住宅については、南海トラフ地震への備えが必要となっています。

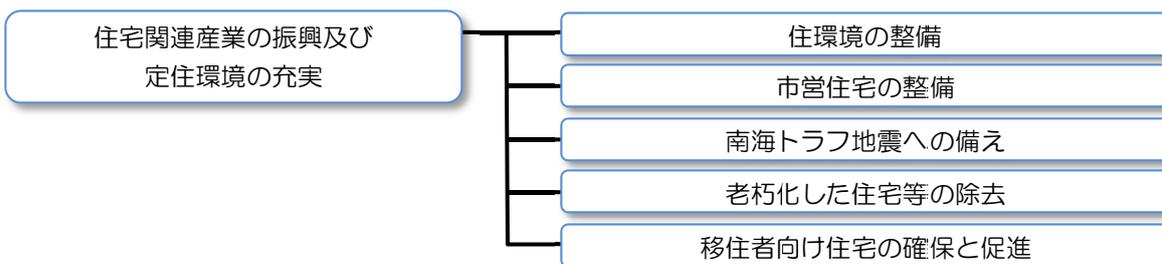
また、空き家等の適切な管理については、所有者又は管理者が第一義的な責任を有することを前提としつつも、市内の空き家対策を総合的かつ計画的に推進する必要があります。

◆施策の基本目標◆

住環境及び市営住宅の整備、住宅の耐震化を行い、香南市に安心して住み続けてもらう定住環境の充実に努めるとともに、住宅関連産業の振興を図ります。

また、「移住・定住促進」の住まいづくりとして、空き家活用等による効率の良い住宅提供をめざします。

◆施策の体系◆



◆まちづくり指標◆

まちづくり指標	現状 (H27)	目標 (H33)	備考
住宅耐震改修件数	109 棟/年	130 棟/年	
空き家バンク登録件数	着手	12 棟	



◆現状と課題◆

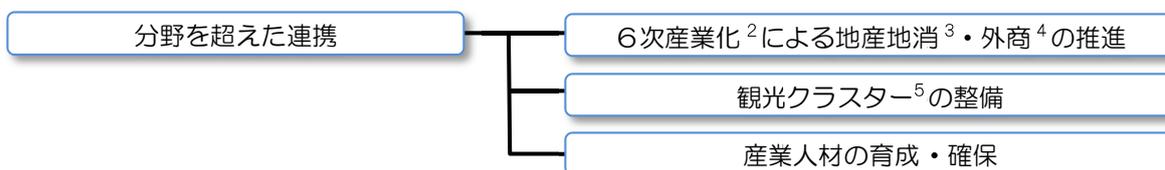
各産業分野による取組や各地域での取組をより効果的に進めるため、農業、林業、水産業、商工業、観光、住宅といった産業分野を超えた連携強化を図る必要があります。

◆施策の基本目標◆

様々な地域資源（生産物・風景・伝統文化など）の価値を再発見・創造し、新たな魅力づくり（付加価値<sup>1</sup>化）や地域づくりの効果的な連携により地域経済の活性化を図ります。

また、雇用支援、企業支援のための情報発信、情報入手の場の整備を行い、人材の育成・確保を図ります。

◆施策の体系◆



◆まちづくり指標◆

まちづくり指標	現状（H27）	目標（H33）	備考
市内生産物を活かした魅力ある新商品の開発	—	2件	H28年度事業開始
食や体験、宿泊などを組み合わせた周遊モデルコース数	着手	10コース	
産業人材支援制度利用者数【再掲】	着手	30件	



<sup>1</sup> 付加価値：他にはない独自の価値。

<sup>2</sup> 6次産業化：農林漁業で生産（1次産業）だけでなく、食品加工（2次）、流通・販売（3次）にも主体的に・総合的にかわり合うことで高付加価値化を図り、活性化につなげていこうという考え方。

<sup>3</sup> 地産地消：その土地で生産された農産物をその土地で消費すること。

<sup>4</sup> 地産外商：市の農産物や特産品を生産者や関係団体と一緒に、県内外に積極的に売り込む取組。「地産地消」の上に成り立つもの。

<sup>5</sup> 観光クラスター：クラスターとはぶどうなどの果実や花の房のことで、ぶどうの粒のような個（観光）が連携した集合体の呼び方。

◆現状と課題◆

幼年期は、妊娠期から子育て期にわたるまでの継続した切れ目ない支援が必要であり、多くの女性が安心して安全に出産できる環境をつくり、出産後は子どもがすくすくと成長できる支援を行うことが求められています。

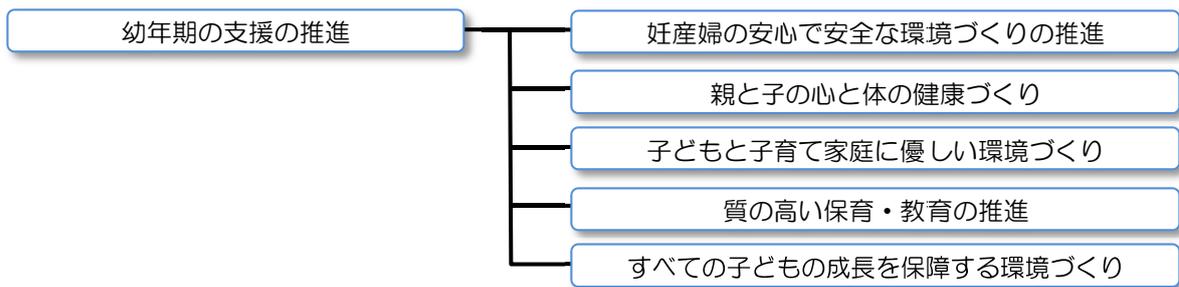
また、親と子どもの生活環境や心身ともに健康であるための支援も必要となっています。

◆施策の基本目標◆

誰もが安心して子どもを産み育てることができ、子どもがいきいきと健やかに育つ環境を整えるために、家庭・地域・関係機関と連携しながら妊娠・出産・育児・就学前保育・教育をサポートしていく施策を展開します。

すべての子どもがすこやかに成長・発展できるよう、また安心して子育てができるよう、妊娠期からの継続した相談や支援が受けられる体制の充実を図ります。

◆施策の体系◆



◆まちづくり指標◆

まちづくり指標	現状 (H27)	目標 (H33)	備考
乳児家庭訪問率	128.0%/年	100.0%/年	
地域子育て支援センター利用者数	4,811 人/年	7,000 人/年	
市のHP (子育て情報サイト) のアクセス数	着手	6,000 回/年	



基本  
施策 12

就学期の支援の推進

◆現状と課題◆

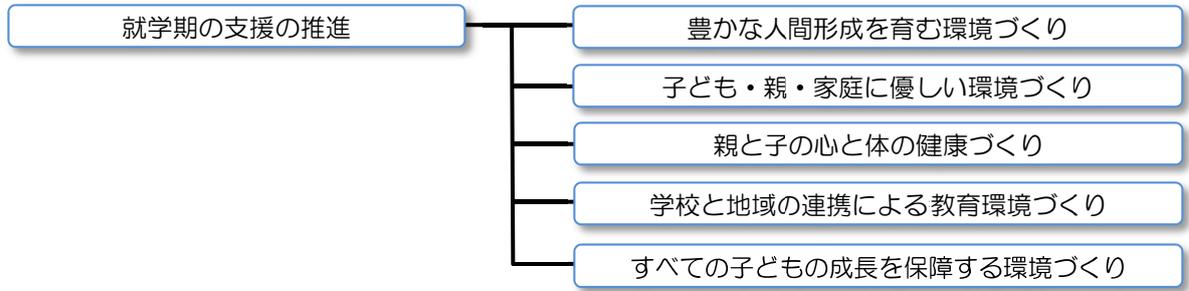
就学期は、子どもが大人へと成長する期間であり、家庭や地域社会の支援、遊びや地域との交流、見守り体制、健康への支援、いじめ・不登校等への対応、教育環境等の支援が必要となっています。

◆施策の基本目標◆

豊かな心を持ち、たくましく健やかに子どもが育つ環境を整えるために、家庭・地域・関係機関と連携しながらサポートしていく施策を展開します。

また、地域社会の見守り、就学支援、質の高い教育環境を整えることなどによって、香南市で子どもを育てたいと思える環境づくりを推進します。

◆施策の体系◆



◆まちづくり指標◆

まちづくり指標	現状 (H27)	目標 (H33)	備考
児童クラブの利用者数	336 人/年	385 人/年	
朝食摂取割合	95.9%/年	96.0%/年	小学3年生～5年生
学校支援地域本部 <sup>1</sup> 設置数	4 校	12 校	全 12 校



<sup>1</sup> 学校支援地域本部事業：学校支援を目的とした地域組織で、活動はコーディネーターの調整のもとで、住民がボランティアとして授業の補助や安全確保などの取組を行います。

基本  
施策 13

成年期の支援の推進

◆現状と課題◆

成年期は、大人社会への参加により、大学への進学や就業、出会い、結婚、出産、子育てなどの、人生の中で様々な経験を経る時期です。地域の賑わいや幸せを感じる、住んで良かったと思える環境をつくるのが課題となっています。

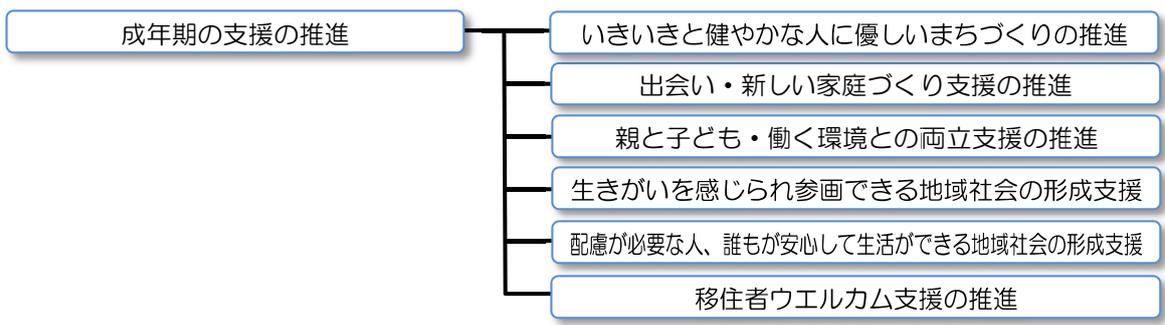
また、少子高齢化の問題が深刻な状況において、地域の活力となる人口を増やすことが必要です。

◆施策の基本目標◆

誰もが参画できる地域社会を形成し、新たな出会いがあり、家庭を築き、安心して子どもを産み育てられ、生きがいを感じられる生活環境づくり、活気ある地域社会の形成を支援する施策を展開します。

また、地域の活力の源となる人口を増やすことが重要であり、香南市に移り住む方を応援し、受け入れ体制づくりの充実を図ります。

◆施策の体系◆



◆まちづくり指標◆

まちづくり指標	現状 (H27)	目標 (H33)	備考
出会いの場参加人数	着手	60人/年	
移住者	1組/年	22組/年	移住相談窓口を通じた数



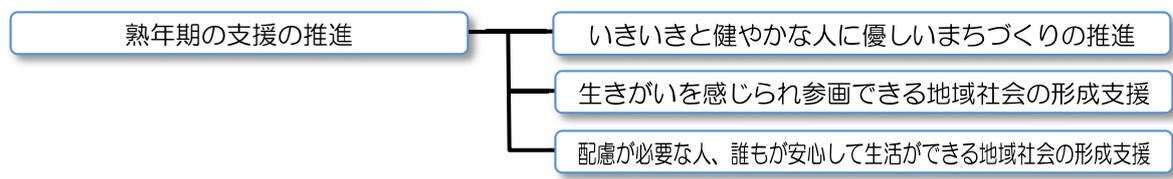
◆現状と課題◆

熟年期は、一般的に子育ても終わり、やっとゆとりができるとともに、地域社会への参加が求められる時期であり、健康への不安が生じる時期でもあります。文化・スポーツ等への参加やボランティアへの参加などの支援や、健康診査等の支援を図ることが必要です。

◆施策の基本目標◆

賑わいとゆとりを感じ、健康で世代間交流や地域社会に貢献する喜びを感じられる環境づくりを推進します。

◆施策の体系◆



◆まちづくり指標◆

まちづくり指標	現状 (H27)	目標 (H33)	備考
特定健診 <sup>1</sup> 受診率の向上	30.9%/年	60.0%/年	
特定健診運動習慣 (週 2 日)	31.8%/年 26.5%/年	36.4%/年 33.4%/年	(上段：男性) (下段：女性)



<sup>1</sup> 特定健診：2008年4月より40～74歳の医療保険加入者を対象として導入された健康診断。糖尿病や高脂血症、高血圧などの生活習慣病の発症や重症化を予防することを目的としている。

基本施策 15 高齢期の支援の推進

◆現状と課題◆

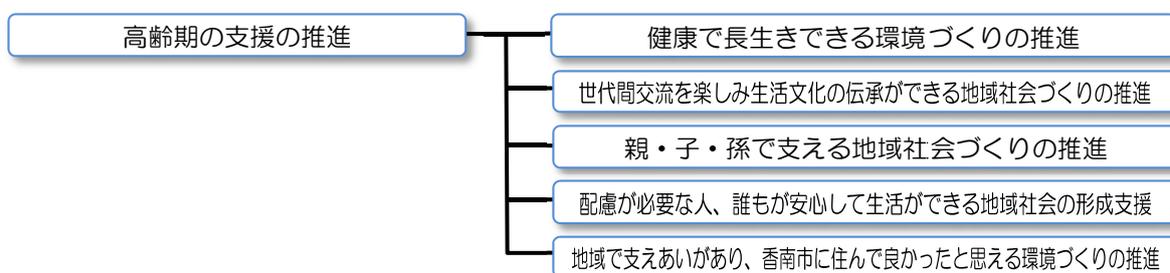
高齢期は、健康を維持していくことへの支援が必要です。

健康を維持しながら長生きできることが、幸せを感じられる環境であり、健康で長生きできるよう、地域社会への参加や世代間交流の活動を楽しめる環境づくりへの支援が求められています。

◆施策の基本目標◆

健康で長生きできる環境、地域交流や世代間交流を楽しめる環境づくりによって、香南市に住んで良かったと思える、地域での支え合いのある安全・安心な環境づくりを推進します。

◆施策の体系◆



◆まちづくり指標◆

まちづくり指標	現状 (H27)	目標 (H33)	備考
介護ボランティア参加者数 (延)	628 人	928 人	
いきいきクラブ事業参加者数 (延)	5,665/年	5,810/年	



◆現状と課題◆

香南市の市域を取り囲むように広がる自然環境・山林ゾーンでは、管理放棄による荒地化が進みつつあり、持続可能で総合的な維持管理を実現することが必要です。

農業ゾーンにおいては、近年の都市化の波により、市街地化が顕著になり、農業の環境保全に悪影響を与えるようになっていきます。

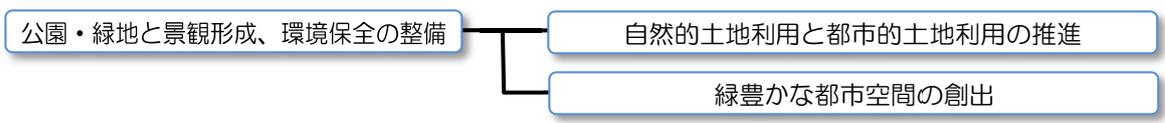
市街地ゾーンでは、宅地化が進んだ人口集中地区や農地の宅地化などにより、身近な自然環境や遊び場が不足する地域も出てきており、住居環境を形成する重要な憩いや緑といった居住環境を提供する空間として、公園等の整備が求められています。

◆施策の基本目標◆

市域は主に山林を有する「自然環境・山林ゾーン」と農用地等の「農業ゾーン」、市街地が集中する「市街地ゾーン」の大きく3つの地域構成に分類されます。

市民が安全で豊かな、恵まれた環境のなかで生活を営むためには、それぞれの地域で自然環境が守られることが不可欠であり、その自然環境の保全と活用に努め、人と自然の調和の取れたまちづくりを推進します。

◆施策の体系◆



◆まちづくり指標◆

まちづくり指標	現状 (H27)	目標 (H33)	備考
物部川流域の育成林の整備面積	5ha	35ha	
遊休農地面積	50ha	減少	H30年度計画策定



◆現状と課題◆

香南市の河川流域は、大きくは物部川上流域、物部川下流域、烏川流域、香宗川流域、岸本川流域、夜須川流域に分かれています。

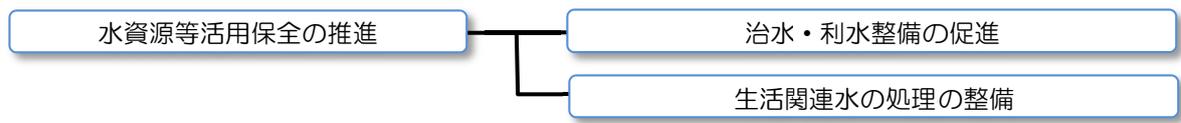
しかし、雨水排水や水源涵養の方法は各流域で統一されたものがなく、地域の実情に合わせ個別の対策に頼っているところが多く、今後ますます進む都市化と過疎化や、農地の再編成などをにらむと、維持管理や施設更新あるいは合理化や経済性を高める施策改良などの推進、総合的で全体的な雨水排水体系を持つことが必要となっています。

◆施策の基本目標◆

水資源は、市民の生活にとっても、また、動植物の生態系や地盤、土地などの形成にとっても大切な自然資源です。その水資源は、河川、ため池、地下水が主なものであり、その利用は、生活用水、農業用水、工業などの産業用水が主なものとなっています。

処理や利活用しているそれら水資源は、降った雨が元になっていることから降雨に対する考え方を明らかにし、その処理や利活用、保全に努めます。

◆施策の体系◆



◆まちづくり指標◆

まちづくり指標	現状 (H27)	目標 (H33)	備考
汚水処理人口普及率	93.2%	97.0%	
合併処理浄化槽設置補助基数	69 基/年	80 基/年	



基本  
施策 18

交通網体系の整備

◆現状と課題◆

国道55号は、南海トラフ地震での津波の影響が考えられるため、高知東部自動車道が、生活面や産業面での利便性の向上だけでなく、防災面においても重要視されており、早期整備が求められています。

また、道路・橋梁（きょうりょう）の耐震整備を進めるとともに、緊急輸送路・避難路等として安全に使用できるよう、国道・県道・市道等の改良整備・維持修繕が必要となっています。特に、暮らしの中で生活道路の役割は最も大きく、市民の安全を守り、利便性を確保するため、幹線道路を補完する道路網の整備が重要であり、通過交通量の計画的な分散や通行車両や歩行者の安全確保に配慮した改良・整備が求められています。

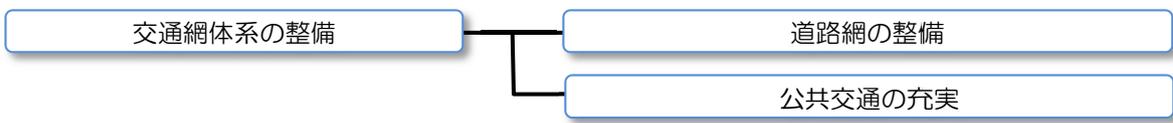
公共交通の市営バスについては、市内環状線と郊外路線の組み合わせが効果的であると考えとともに、利用者のニーズに合わせた効率的・効果的な運行を行う必要があります。

◆施策の基本目標◆

豊かな自然に恵まれた市域で、元気で活力ある市民生活や市民活動が営まれるためには、交通や物流あるいは人と人との交流を支える骨格交通網が不可欠となります。

そのため、人口規模や産業規模に見合った道路網計画や公共交通などを構築する必要があり、幹線道路や生活道路を含めた道路網の整備や公共交通サービスの充実を図ります。

◆施策の体系◆



◆まちづくり指標◆

まちづくり指標	現状 (H27)	目標 (H33)	備考
市営バス利用者数	38,066 人/年	40,000 人/年	



◆現状と課題◆

教職員総会等で、「香南市保幼小中連携（一貫）パンフレット」等の資料を活用し、具体的な取組について共通認識を図りながら取組を推進しています。

また、平成 28 年度より中学校区連携推進事業を実施し、不登校や学力向上など中学校区の課題に応じた講師を招き、保幼小中合同研修会を実施することで、就学前からの統一した取組の推進につながりつつあります。

しかし、他中学校区の優れた取組を共有するものの、中学校区の立地条件などの要因により、それを自校の実践に取り入れることが容易にできない現状があります。

◆施策の基本目標◆

保育所、幼稚園、小中学校が連携し、0歳から15歳までの15年間を通して、子どもの発達段階に応じた系統的な教育を進めることで、コミュニケーション能力、規範意識<sup>1</sup>及び自尊感情<sup>2</sup>等を身に付けた子どもたちを育成するとともに、親の子育てを支援していきます。

◆施策の体系◆



◆まちづくり指標◆

まちづくり指標	現状（H27）	目標（H33）	備考
交流活動を組織として位置づける （よくできた、できたと回答した割合）	31.0%/年	80.0%以上/年	*教職員を対象とした連携 についてのアンケート調 査より
交流活動の際、育てたい力の共通理解 （よくできた、できたと回答した割合）	51.0%/年	80.0%以上/年	



<sup>1</sup> 規範意識：マナーや道徳を重視し遵守する気持ち。

<sup>2</sup> 自尊感情：自分自身を好きだと感じる事、自分を大切に思える気持ちのこと。

◆現状と課題◆

家庭生活の困窮等により、家庭学習の定着が難しく、学力の二極化、いじめや不登校、虐待等の課題がみられます。コミュニティ・スクール<sup>1</sup>や学校支援地域本部事業などを導入し、学習の場の充実と保護者の子育て力を向上させる取組が必要となっています。

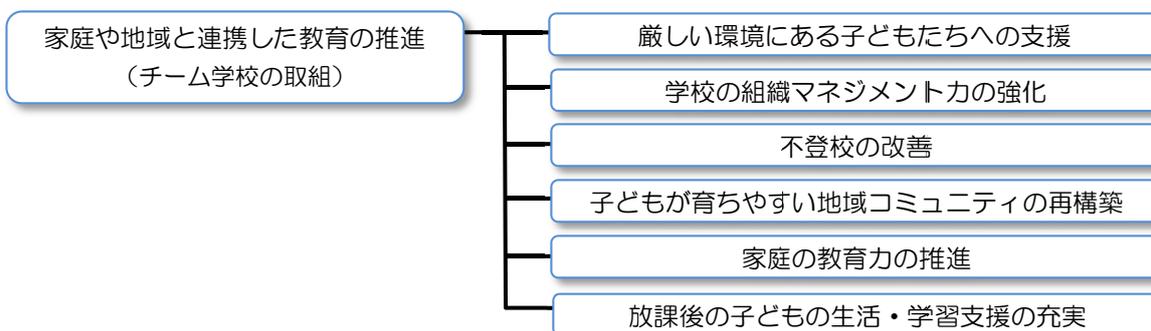
不登校の発生率は、年々増加しており、これには、さまざまな要因があるため、改善に向けての取組は個々の状況に応じた対応が必要となっています。スクールソーシャルワーカー<sup>2</sup>やスクールカウンセラー<sup>3</sup>との連携を図りながら、改善に向けた取組を推進しています。

◆施策の基本目標◆

家庭生活の困窮等で厳しい環境にあり、学力や基本的な生活習慣の未定着など、子どもたちを取り巻く負の連鎖環境を教育によって断ち切ることをめざします。不登校の児童・生徒に対しては、関係機関と連携を図りながら、改善に向けて取組を推進します。

家庭や地域社会が、子どものしつけや基本的な生活習慣の確立等の教育基盤となる役割をしっかりと担うとともに、子どもを守り育てる地域住民の連帯感を再構築し、子どもたちが家庭や地域の豊かな愛情のなかで安心して成長できる地域コミュニティの実現をめざします。

◆施策の体系◆



◆まちづくり指標◆

まちづくり指標	現状 (H27)	目標 (H33)	備考
子育て親育ち講演会への参加者数	596 人/年	650 人以上/年	
不登校児童・生徒の割合 (不登校児童・生徒数/総児童・生徒数)	1.51%/年 5.29%/年	0.50%以下/年 3.50%以下/年	上段：小学校 下段：中学校
こうなんファミリーサポートセンター会員数	-	150 人以上	H28 年度事業開始
学校支援地域本部設置校数	4 校	12 校	

<sup>1</sup> コミュニティ・スクール：保護者や地域住民が学校運営に参画し、「地域とともにある学校づくり」を推進するもの。

<sup>2</sup> スクールソーシャルワーカー：子どもの家庭環境による問題に対処するため、児童相談所や福祉事務所等の関係機関と連携したり、教員を支援したりする福祉の専門家。

<sup>3</sup> スクールカウンセラー：児童生徒の心の悩みに対応することを目的とする専門家。

基本施策 21

これからの社会を生き抜く力を育む教育の推進

◆現状と課題◆

現在、就学前児童の約8割が市内の保育所、幼稚園、認定こども園、地域型保育施設を利用し、未就園児の約8割が子育て支援センターに登録していますが、子どもを取り巻く社会環境の変化や価値観が多様化するなか、基本的な生活習慣の未定着やコミュニケーション能力の弱さ、運動能力の低下等による子どもの育ちへの対応や、子育てに不安や悩みを抱える保護者への支援が求められています。

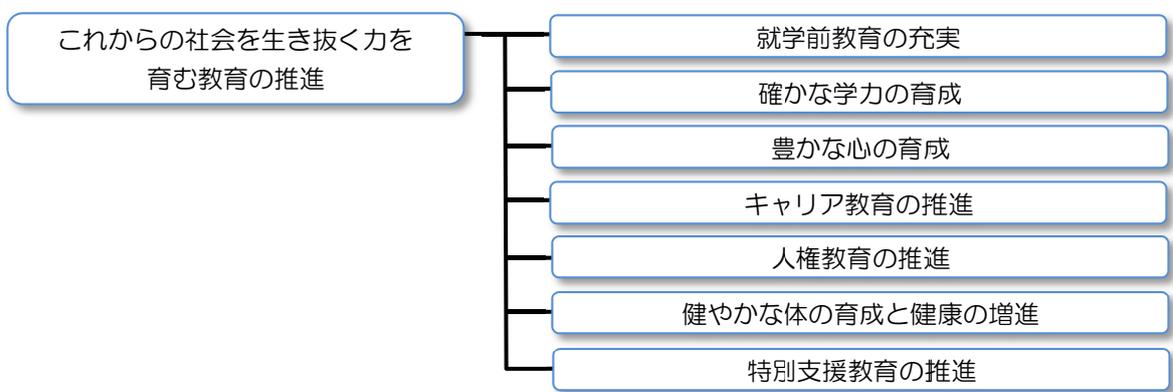
◆施策の基本目標◆

「香南市乳幼児教育政策プログラムⅡ」に基づき、生涯にわたる人格形成の基礎となる豊かな心情・意欲・態度を育むための保育・教育活動を保護者と連携して推進します。

子どもたちに生きて働く「知識・技能」を習得させ、未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成を推進するため、「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指す授業改善に努めます。

また、生涯にわたって健康でいきいきとした生活をおくるため、家庭や地域と連携して就学前からの望ましい生活習慣、食習慣、運動習慣を確立するための健康教育や障害のある児童生徒の能力や可能性を十分に伸ばすために、関係機関と連携を図りながら、一人ひとりの発達や障害の種別等に応じた特別支援教育を推進します。

◆施策の体系◆



◆まちづくり指標◆

まちづくり指標	現状 (H27)	目標 (H33)	備考
子育て支援センター利用者数	4,811 人/年	7,000 人以上/年	
ICT機器を活用した校内授業研修の実施	75.0%/年	100.0%/年	
いじめが解消した割合 (いじめが解消した件数/いじめ認知件数)	67.3%/年 90.9%/年	90.0%以上/年 92.0%以上/年	上段：小学校 下段：中学校
肥満傾向率 (小学校5年生)	12.5%	10.0%以下	

◆現状と課題◆

生きて働く力の育成をめざし、学力向上や発達障害を含め特別な支援の必要な児童生徒への適切な対応が求められています。

保育所や幼稚園では、管理職研修や中堅保育士、各担当者等への研修が計画的に実施でき、内容も年ごとに充実してきており、研修で学んだことが具体的な取組実践に生かされています。

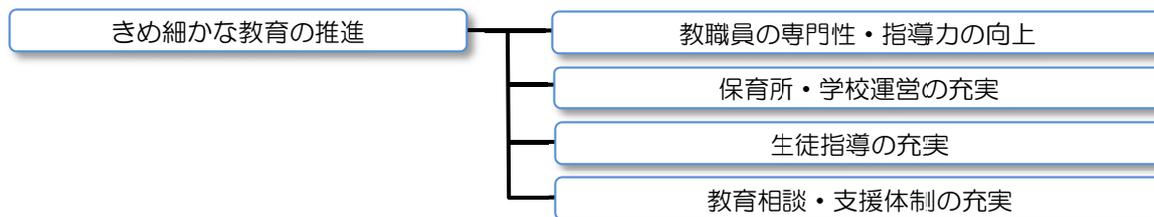
また、各所属所では、保育所評議員・学校評議員を配置し、評価を実施していますが、今後は、各所属所での評議員会だけでなく、中学校区での合同評議員会を取り入れ、協議をすることで、15歳の出口をめざした取組評価を実施することが必要です。

◆施策の基本目標◆

教育課題の解決のために、保育や教育の専門的知識を一層深めるとともに、広く豊かな教養と実践的指導力を高めるなど、教職員の資質・指導力の向上に努めます。

保育所、幼稚園、学校が地域の教育力を生かし、創意工夫した教育活動を展開することにより、保護者や地域から信頼される保育所、幼稚園、学校づくりを推進します。

◆施策の体系◆



◆まちづくり指標◆

まちづくり指標	現状 (H27)	目標 (H33)	備考
授業の内容がよくわかると回答した児童生徒の割合（「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した割合）	小学校 85.0%	小学校 85.0%以上	国語
	中学校 63.7%	中学校 70.0%以上	
	小学校 87.1%	小学校 87.0%以上	算数・数学
	中学校 60.3%	中学校 70.0%以上	
学校に行くのは楽しいと思うと回答した児童生徒の割合（「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した割合）	小学校 86.4%	小学校 90.0%以上	全国学力・学習状況調査
	中学校 72.9%	中学校 80.0%以上	

◆現状と課題◆

いかなる状況においても、自分の命を守ることができる子どもを育成するため、学校安全計画に基づいた防災教育や訓練が行われています。今後は、登下校時や放課後など、あらゆる場面での避難訓練を充実させ、自分一人でも適切な判断ができる力を付ける必要があります。

各所属所においては、定期的な安全点検が実施でき、環境整備について充実した取組を推進することができています。今後も引き続き安全点検を実施し、危険箇所へのいち早い気付きにつなげることが必要です。

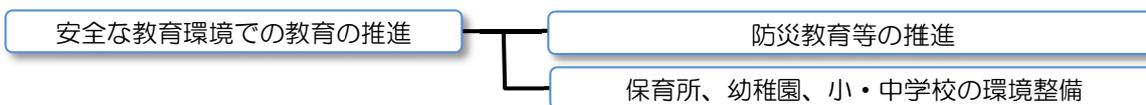
◆施策の基本目標◆

地震等による災害の発生時に、迅速かつ適切な対応ができる危機管理体制の整備・充実を図り、子どもたちの安全確保と保育所、幼稚園、学校の安全管理に努めます。また、子どもたちの事故や事件を未然に防止するための教育を推進します。

校舎等の耐震補強や改修、教材の整備などについて積極的に取組、子どもたちが安心して学べる環境整備に努めます。

また、教育施設等における遊具等の点検・補修等、施設の安全確保に努めます。

◆施策の体系◆



◆まちづくり指標◆

まちづくり指標	現状 (H27)	目標 (H33)	備考
小・中学校における非構造部材 <sup>1</sup> の耐震化	50.0%	100.0%	
小・中学校におけるトイレの洋便器化	50.0%	100.0%	



<sup>1</sup> 非構造部材：天井・ガラス・外壁・照明・エアコン・収納棚など

基本施策 24 生涯にわたり豊かな心を育む環境づくり

◆現状と課題◆

近年、少子高齢化や核家族化、情報化社会の進展による価値観の変化やライフスタイルの多様化、家庭や地域での人間関係の希薄化など、社会情勢は大きく変化してきています。

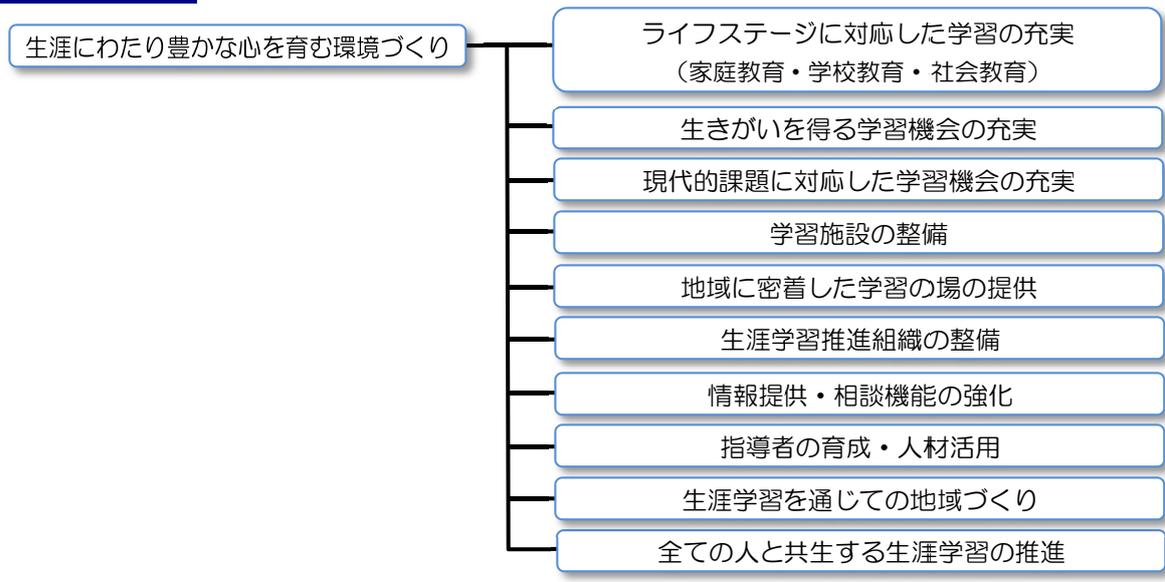
そのため、生涯にわたり自分のライフスタイルに合った手段や方法で、自分らしさや生きがいを見つけ、楽しく充実した生活を送ることのできる自己充実や社会参画のための学習機会の提供が求められています。

◆施策の基本目標◆

市民が生きがいを見つけ自己実現を果たすため、各年代に応じた様々な学習機会を提供するとともに、情報の提供・相談機能の強化、指導者の育成・人材活用を行います。

また、地域住民の交流・地域活動の場としての施設の整備改修を計画的に進めます。

◆施策の体系◆



◆まちづくり指標◆

まちづくり指標	現状 (H27)	目標 (H33)	備考
生涯学習人材バンクの登録者数	0人	200人	
図書館の入館者数	68,825人/年	80,200人/年	
図書館の貸出冊数	116,714冊/年	130,000冊/年	
夏休み子ども教室の回数 (参加者数)	21講座(299人)/年	25講座(310人)/年	

◆現状と課題◆

近年、市民はゆとりや心の豊かさを求める傾向が高まっており、芸術・文化活動に関する意識は多様化しています。

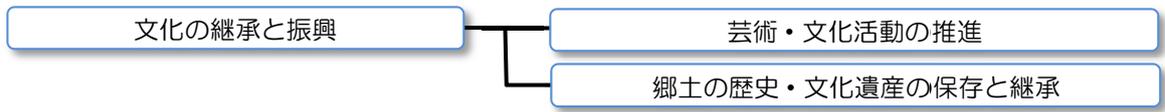
また、優れた芸術品等文化財の保護・保存や無形文化財の継承、歴史的記録や民具などの積極的な活用が求められています。

◆施策の基本目標◆

多様な芸術・文化活動の支援を行うとともに、優れた芸術・文化を鑑賞する機会を充実します。

また、文化財センターを中心に市の歴史や文化財に触れる機会を充実します。

◆施策の体系◆



◆まちづくり指標◆

まちづくり指標	現状 (H27)	目標 (H33)	備考
市美術展覧会の入場者数	1,264 人/年	1,500 人/年	
文化財ボランティアガイド登録者数	42 人	50 人	
小・中学校への出前講座の実施回数	2 回/年	5 回/年	



基本  
施策 26

生涯にわたり親しみ高めあうスポーツの振興

◆現状と課題◆

仕事中心から生活重視への国民の意識の変化などにより、主体的に自由時間を活用し、精神的に豊かなライフスタイルを構築したいという要望が年々強まっています。

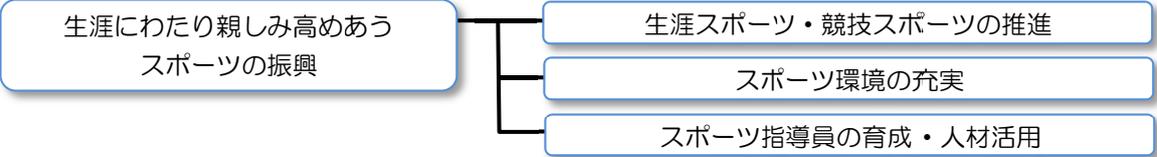
しかしながら、一方では、ライフスタイルの多様化により、地域における人間関係が希薄となり、精神的なストレスが増大したり、日常生活において体を動かす機会が減少し、体力や運動能力が低下したりするなどの心身両面にわたる健康上の問題が課題となっています。

◆施策の基本目標◆

多くの市民がスポーツに親しめるよう様々なジャンルのスポーツを推進し、子どもから高齢者まで各年代に応じた体力の増進を図り、健康で活力に満ちた長寿社会をめざします。

また、スポーツを通じた青少年の健全育成や、地域の人たちの交流を促進し、活力ある地域社会をめざします。

◆施策の体系◆



◆まちづくり指標◆

まちづくり指標	現状 (H27)	目標 (H33)	備考
市長杯等の参加者数	480 人/年	590 人/年	
市民ウォーキング大会参加者数	80 人/年	290 人/年	
体育施設の障害者用トイレ設置数	8 箇所	17 箇所	学校開放施設を含む
スポーツ少年団認定指導員資格取得者数	64 人	75 人	



基本施策 27 災害に強いまちづくりの推進

◆現状と課題◆

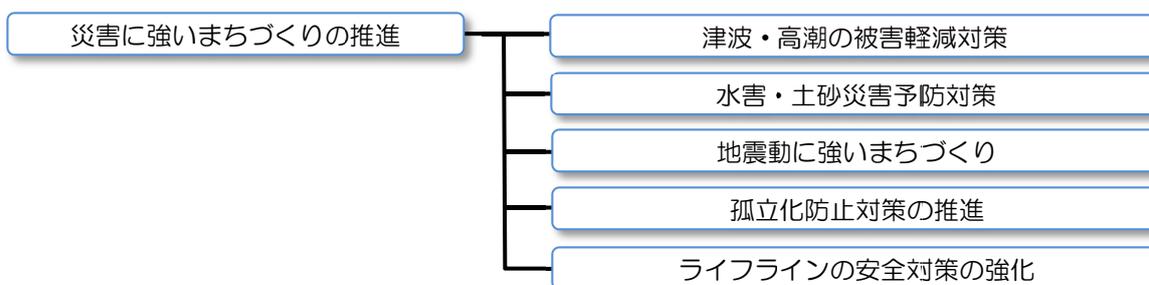
近い将来発生が予想されている南海トラフ地震や、各地で頻発する集中豪雨による河川の氾濫や土砂災害に備えるため、避難場所の整備や河川改修、各家庭における耐震対策など、防災、減災対策の強化が求められています。

◆施策の基本目標◆

自然災害による被害を最小限にとどめるため、国や高知県に対し海岸や河川の適切な管理と整備の推進を求めるほか、避難高台の整備や急傾斜地の土砂災害防止対策、山間部の孤立対策を進めます。

また、地震に対する対策として、公共施設やライフラインの耐震化を進めるとともに、各家庭における対策の促進を図ります。

◆施策の体系◆



◆まちづくり指標◆

まちづくり指標	現状 (H27)	目標 (H33)	備考
避難タワーなどの高台整備箇所	12 基	22 基	
防災訓練（土砂災害）の実施	未実施	定期実施	H29 年度実施予定
住宅耐震改修件数	100 棟/年	130 棟/年	



基本施策 28 地域防災力の育成

◆現状と課題◆

あらゆる災害への事前の備えや、災害発生時の自助・共助に関する知識の習得は必要不可欠で、広く普及されることが必要です。

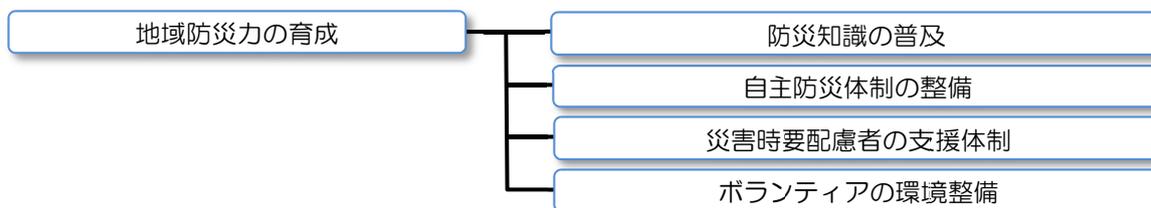
また、障害のある方や高齢者など災害時要配慮者に対する支援対策の強化も求められています。

◆施策の基本目標◆

近年発生した大震災や土砂災害、河川の氾濫など、災害の教訓をひまえ、広く防災知識の普及に努めるとともに、地域自主防災組織の設立促進と組織力の向上を図ります。

また、災害発生時の要配慮者対応を強化し、関係機関や地域との連携に努めます。

◆施策の体系◆



◆まちづくり指標◆

まちづくり指標	現状 (H27)	目標 (H33)	備考
香南市業務継続計画の実践訓練	未実施	定期実施	H30 年度実施予定
自主防災組織の結成率	89.2%	100.0%	99 組織 (H29.3.31 現在)



基本施策 29 防災体制の強化

◆現状と課題◆

大規模災害による被害を最小限にとどめ、被災後の速やかな救助活動や応急対応活動が行える体制づくりが必要です。

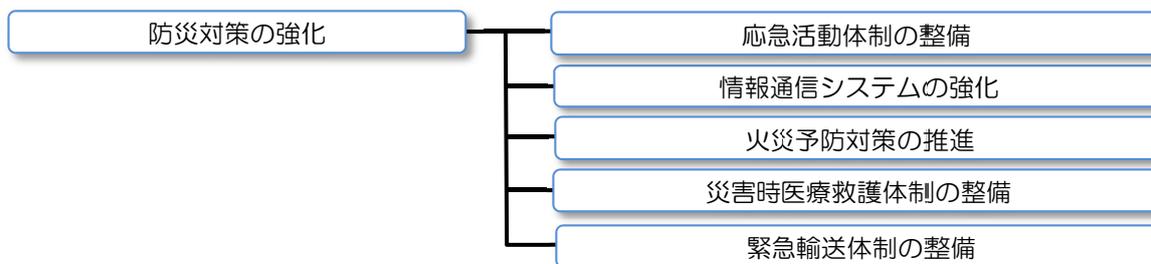
さらに、住民や応急活動従事者の混乱を防ぎ、的確な情報を伝えるための情報通信手段の強化が求められています。

◆施策の基本目標◆

大規模災害の発生に対応するため、市民や職員が必要な活動を行える体制の整備、迅速かつ的確な消防体制・医療救護体制の整備、円滑で的確な救援物資の輸送体制の整備を進めます。

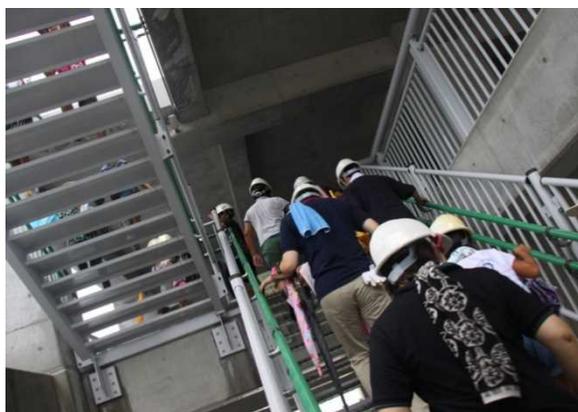
また、災害時の情報伝達を強化するため、多様な通信手段の確保に努めます。

◆施策の体系◆



◆まちづくり指標◆

まちづくり指標	現状 (H27)	目標 (H33)	備考
香南市総合防災訓練参加者数	4,844 人/年	7,500 人/年	
防災行政無線（移動系）整備	アナログ	デジタル化	
備蓄倉庫の整備	1 棟 0 棟	1 棟 3 棟	上段：浸水区域内 下段：浸水区域外



基本施策 30 市民生活の確保

◆現状と課題◆

被災後は市民生活が激変し、自由やプライバシーが制限された集団での避難生活を余儀なくされることが考えられます。

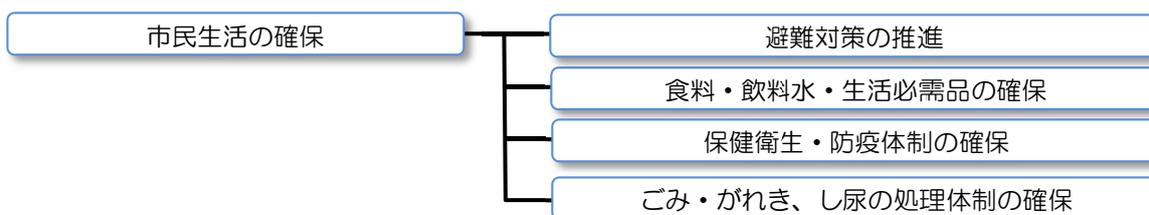
避難所では、平等で規則正しく、衛生的で秩序や安全性を保った運営を実現する体制づくりが必要です。

また、集団生活による伝染病や食中毒等に対する防疫体制の確保も必要です。

◆施策の基本目標◆

南海トラフ地震など、大規模災害時の避難対策として、避難所の整理と運営体制の確立を進めます。また、避難生活に必要な備蓄品については、公的備蓄の早期整備と個人備蓄の啓発に努めます。廃棄物の処理については、集積場所の確保や、民間処理事業者との協力体制の確立を進めます。

◆施策の体系◆



◆まちづくり指標◆

まちづくり指標	現状 (H27)	目標 (H33)	備考
避難所運営マニュアル作成	0箇所	27箇所	浸水区域外の指定避難所 (全27箇所)完了
食料・生活必需品の備蓄率	61.0%	100.0%	L2 想定避難者数 (12,000人分)



---

## 第2次香南市振興計画前期基本計画



発行日：平成29年3月

発行：高知県香南市企画財政課

〒781-5292 高知県香南市野市町西野2706

T E L : (0887) 56-0511 (代表)

F A X : (0887) 56-0576

U R L : <http://www.city.kochi-konan.lg.jp/>

---